

## 「電力自由化」に関するアンケート調査

調査期間: 2016/2/24～3/1  
調査方法: インターネットによる調査  
調査対象: 新潟県内在住の20～59歳の男女(1,814名)

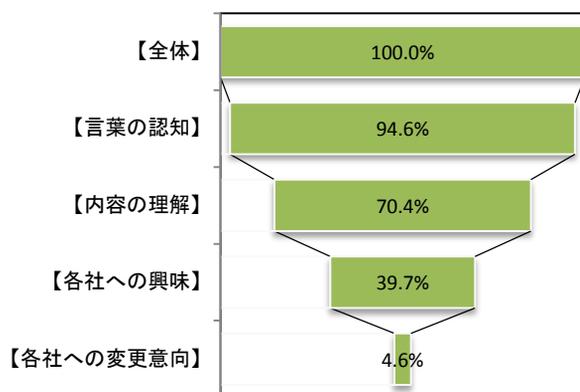
## ● 調査結果概要 ●

## ■ 競争力の強化に、消費者への「動機づけ」が有効

スピードリサーチ社が運営・管理するONES★の新潟県内在住会員を対象に調査を行った。

電力自由化(電力小売全面自由化)について、「知っていた」は約7割。「知っていた」と「聞いたことはある」を合わせると9割以上。「知っていた」人で、他の電力会社のサービスやプランに「興味がある」と答えた割合は6割弱。「興味がある」人で、4月～6月に電力会社を「変更したい」人は約1割。「4月～6月ではないが、変更したい」が約4割。

消費者が行動に至るまでの心理をファネル化した(割合は全回答者数に基づく)。



【内容の理解】は約7割となっているものの、【各社への興味】は約4割にとどまり、やや停滞。

【各社への変更意向】は全体の1割に満たない。

現在の状況としては、消費者に訴求内容が十分に伝わっておらず、変更したいとまでは思われていない。各電力会社の今後の展開として、消費者に変更したいと思わせるよう、訴求方法や内容の見直し、変更の動機づけ等が必要と考えられる。消費者の変更意向を促進することが、今後の競争の鍵になると推測される。

## ■ 集計・分析にあたって

- 図表中の「n」とは回答者総数(または該当者質問での該当者数)のことです。100%が何人の回答に相当するかを示す比率算出の基数です。
- 数値(%)は単位未満を四捨五入してあるので、総数と内訳の計が一致しないこともあります。
- 本文及び図表中、意味をそこなわない範囲で簡略化した選択肢があります。
- 集計結果については、新潟県の人口構成比(2016年1月1日現在)を反映するために、性・年齢で重み付けをしています(ウエイトバック集計)。本調査結果の回答比率及び回答件数はウエイトバック集計後の数値です。  
n値と各選択肢の回答件数の合計は、小数点以下を四捨五入した集計結果のため、一致しない場合があります。

## ■ 回答者属性

【性別】 男性: 905人(49.9%)、女性: 909人(50.1%)

【年代別】 20代: 122人(6.7%)、30代: 573人(31.6%)、40代: 838人(46.2%)、50代: 281人(15.5%)

## ■ 回答者属性(ウエイトバック集計後)

【性別】 男性: 923人(50.9%)、女性: 891人(49.1%)

【年代別】 20代以下: 335人(18.5%)、30代: 448人(24.7%)、40代: 525人(28.9%)、50代: 505人(27.9%)

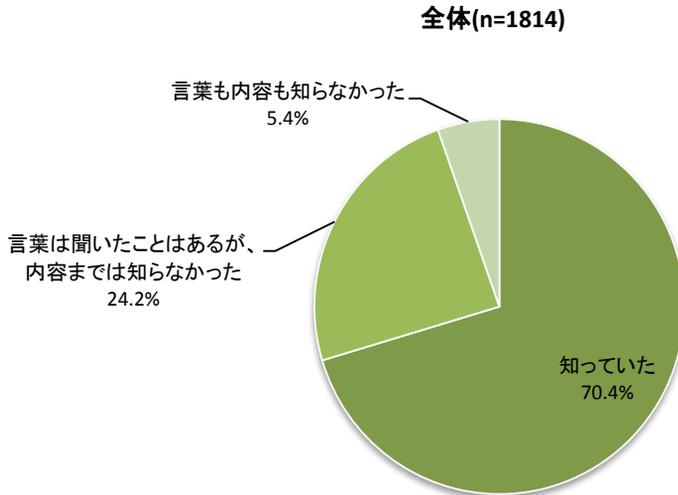
## ● 本件 お問い合わせ先 ●

**株式会社スピードリサーチ** (担当: 栗林) 新潟市東区小金町1-7-1 NTT小金ビル  
TEL: 025-270-3800 E-Mail: info@speed-r.co.jp

※本調査結果のご使用は原則無償です。ご使用いただく際は、事後報告でも構いませんので、ご一報願います。  
※ご使用の際は「ONES★登録会員」を対象に行った調査であることが分かるように、ご明記願います。

## Q1.

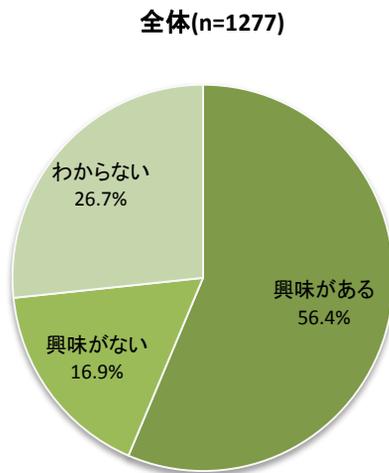
今年4月から電力小売全面自由化(電力自由化)により、電力会社や料金メニューを自由に選択できるようになります。あなたは、このこと(電力自由化)について知っていましたか？(択一回答方式)



## Q2.

他の電力会社のサービスやプランに興味がありますか？(択一回答方式)

※Q1. で「知っていた」人のみ



## Q3.

あなたは4月～6月の間に電力会社を変更したいと思いますか？(択一回答方式)

※Q2. で「興味がある」人のみ

